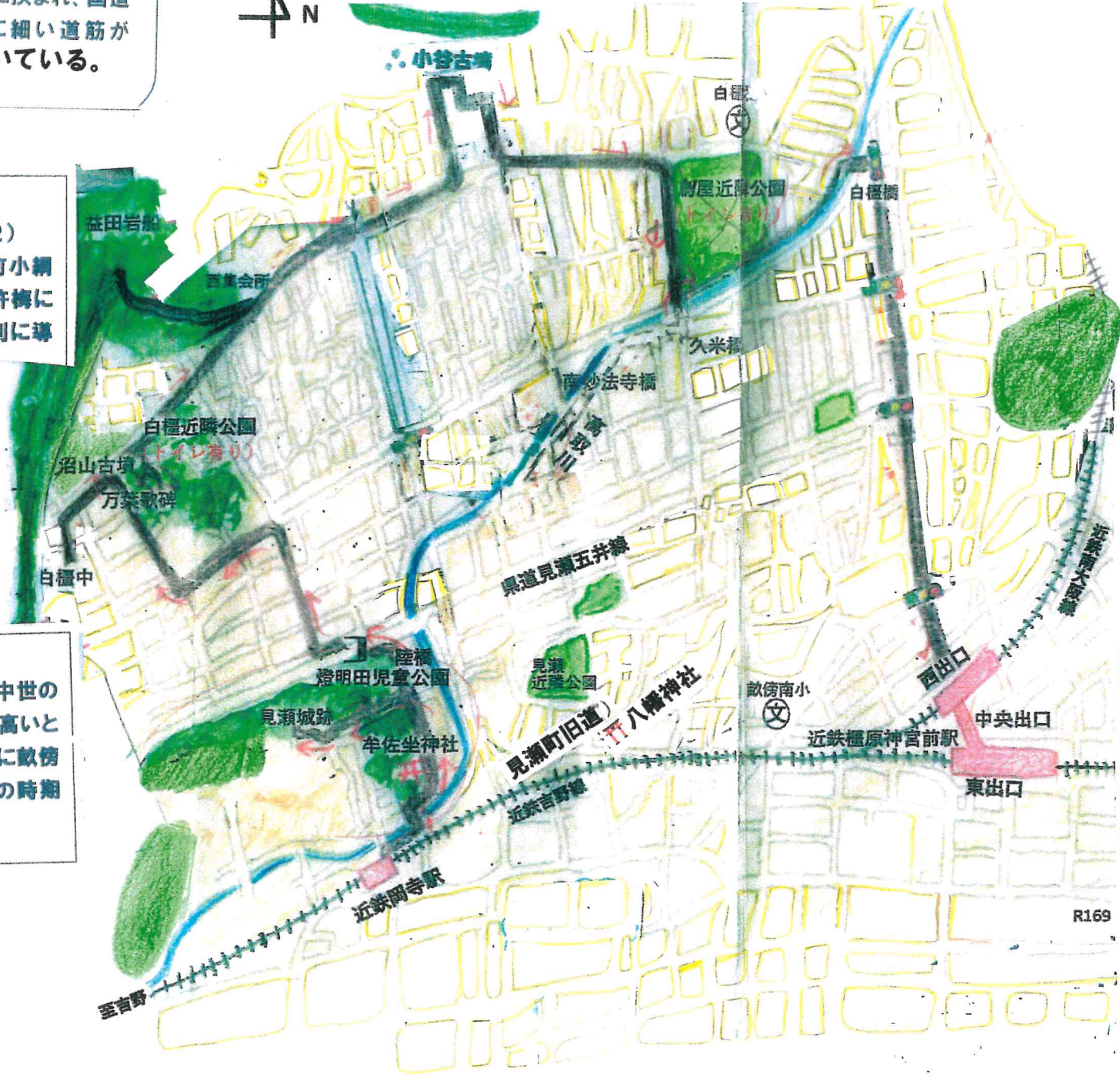


マップウォーキング

丘陵地の公園を歩こう！～見瀬町・白檀町～

貝吹山の北麓に、古代文化の花開き、そして檀原市発足時に、現在の見瀬町が生まれた。見瀬町は、市の南部、国道165号線と近鉄吉野線に挟まれ、国道見瀬交差点から南西に細い道筋が派生、古い町並みが続いている。



牟佐坐神社 むさにますじんしゃ
『日本書紀』天武天皇元年(672)大海人皇子軍が金網井(今井町小網町付近)で戦った時、高市県主許梅に身挟社の生霊靈は懸かって勝利に導き、これを篤く祀ったとされる。



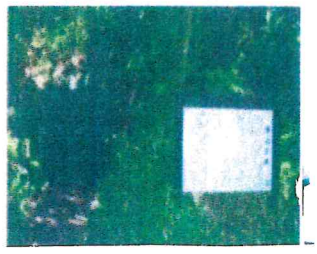
見瀬城址(みせじょうせき)
燈明田児童公園、その一部に、中世の城址。石垣が面影を伝える、小高いところにある、白檀の町並み、北に欽傍山、西に貝吹山が望まれ、桜の時期は、見どころ。



白檀近隣公園
地名は「城山」。ニュータウン造成時に自然の丘を残し公園になった。春は桜、秋は紅葉が美しく、散歩に最適。中大兄皇子の大和三山の妻争いの万葉歌碑がある。



沼山古墳
白檀近隣公園の中に保存されている古墳。古墳の形式は円墳で築造年代は6世紀。横穴式石室が開口しており、鉄柵越しに石室の仲を覗き見ることが出来る。



益田岩船(ますだのいわふね)
貝吹山の東峰にある巨大な花崗岩の石造物。南北約8m、東西約1.6m、深さ約1.2mの穴があげられている。岩船が何の目的として造られたものか、諸説ある。県指定史跡。



見瀬町旧道
土蔵を備えた商家風建築の町並みが檀原神宮駅あたりまで続き、街道の風情が今も醸しだされている。



八幡神社
見瀬町の小山に鎮座する社。鳥居前の勧請縄。武神を祀る社として創建されながら、村の五穀豊穡を祈る社へと変遷。大蛇を模したといわれる勧請縄が目きりく



コース：近鉄岡寺駅(西北出口) ⇒ 牟佐坐神社 ⇒ 燈明田児童公園(見瀬城址) ⇒ 白檀近隣公園(沼山古墳) ⇒ 益田岩船 ⇒ 見瀬近隣公園 ⇒ 見瀬町旧道 ⇒ 八幡神社 ⇒ 近鉄檀原神宮前駅(東出口)

※歩数、距離、時間は、あくまでも目安です。

(約8,000歩 8km 120分)